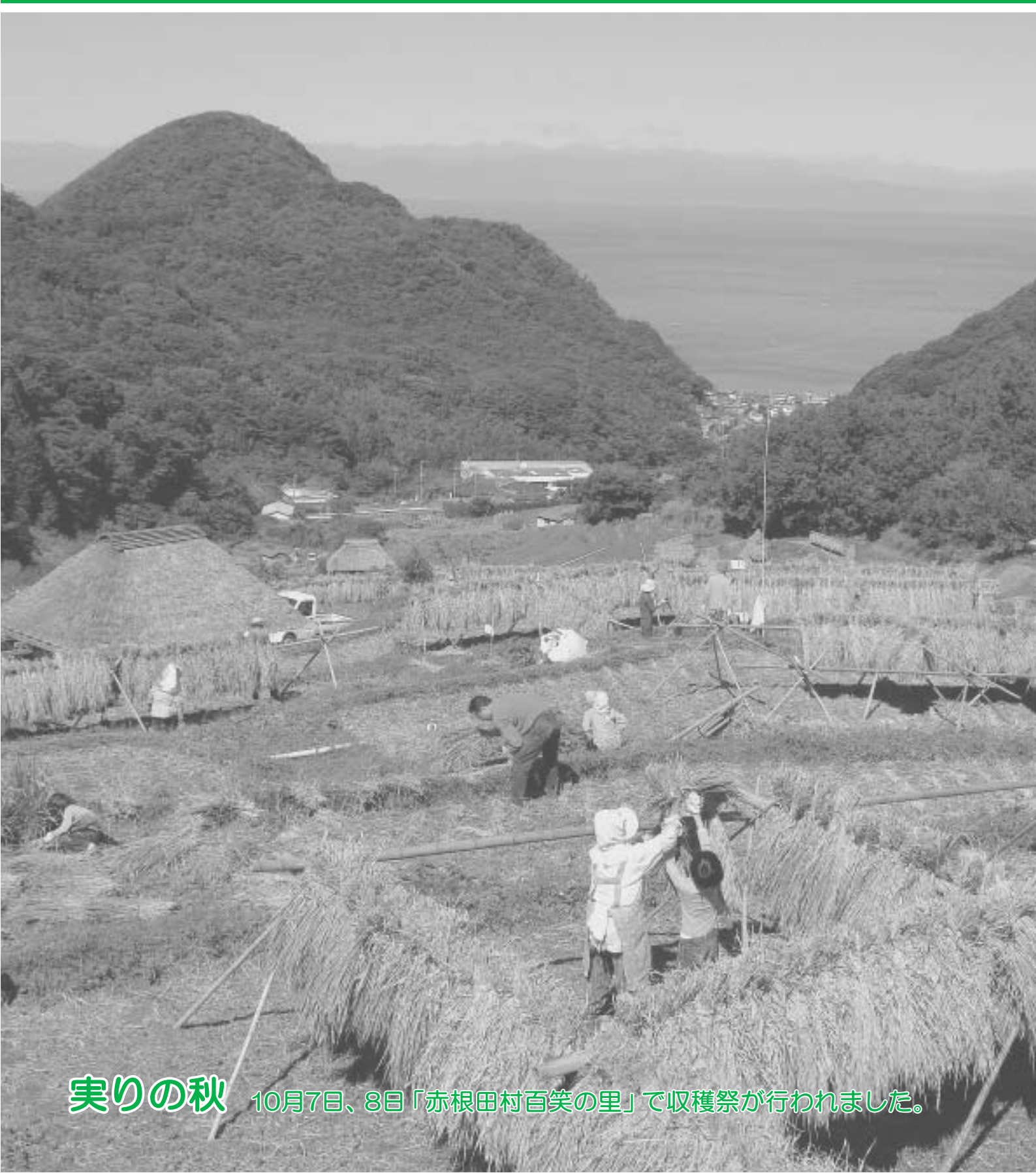




2006
(平成18年)

まつざき

11
No. 510



実りの秋 10月7日、8日「赤根田村百笑の里」で収穫祭が行われました。



しずおか市町村対抗駅伝

松崎町代表チーム選手決定!

12月2日(土)静岡県庁前10時スタート
現地で、テレビで、
みんなで応援しましょう!

県内四十二市町の代表が参加し、タスキをつなぐ第七回静岡県市町村対抗駅伝競走大会が十二月二日、静岡県庁前をスタート、草薙陸上競技場をゴールとする十区間四十二・一九五キロのコースで行われます。

大会に参加する松崎町チームの登録選手がこのほど決定しました。

現在、本番に向けて毎週水曜日の夜、松崎小学校で合同練習をしています。

練習、本番とも皆さんのご声援をお願いします。



合同練習の様子



4区
石田和也くん
(松崎高1年)
-江奈1-



3区
稲葉清彦さん
(伊豆急行)
-山口-



2区
土屋慎之助くん
(中川小6年)
-那賀-



1区
永谷晃子さん
(松崎高1年)
-江奈1-



監督
土屋武彦さん
(下田中教諭)
-南郷-



10区
菅原知成さん
(松崎小教諭)
-桜田-



9区
佐藤玖昭くん
(松崎高1年)
-山口-



8区
船津美香さん
(松崎高2年)
-船田-



7区
高見美喜さん
(松崎中3年)
-道部-



6区
船津弘貴くん
(松崎中1年)
-船田-



5区
佐藤久美子さん
(松崎警察署)
-八木山-



第6回大会のスタート

平成18年度

松崎町民スポーツ大会

町民体育大会を見直し、「一回目」となる大会が松崎小学校で開催されました。

爽やかな秋空のもと、装いも新たに平成十八年度松崎町民スポーツ大会が十月九日の体育の日に、松崎町体育協会主催のもと開催されました。

今回の大会開催に際し、町民の皆様には開催に向けてご心配、ご迷惑をお掛けしましたが、各区分長、スポーツ委員、体育委員の皆様のご理解、ご協力により無事開催することが出来ましたことに深く御礼を申し上げます。

町民体育大会から、町民スポーツ大会へと名称は代わりましたが、松崎町民が一堂に会する唯一の場であり、親睦を深め、コミュニティの推進の場とし、更にはスポーツを通して健康を育むという、本来の趣旨は継続されております。



当日は、町内十五地区と有志の方々七競技に延七百三十四人の方が参加し、また、開会式には松崎高等学校吹奏楽部の皆様に華を添えていただくなど、大勢の方の参加と応援により大会が盛り上がりました。また、本年度から参加方式や競技種目を変えたことにより、幼稚園児から高齢者の方まで、幅広い年齢層の

参加を得ることができたことが、今大会の最大の特徴となりました。

競技は、「心をひとつに一気に」(綱引き)の予選から始まり、各チームの力自慢が集い決勝戦に向けて競い合いました。「急いであわてず早くして」(水汲競争)では、孫と手をつないで一緒に参加されたお

じいさん、おばあさんもいて、微笑ましい光景が繰り広げられました。競技の最後は、地区対抗の「一致団結右、左」(むかで競争)で締めくくり、大会が大いに盛り上がり終了することができました。

競技中の大きなけがもなく、天候にも恵まれ、参加者全員が秋のスポーツを満喫した一時でした。



参加された方々からは、開催時間が短くて良い、幅広く多くの人が参加出来て良かった、楽しめた等、新町民スポーツ大会に好意的な意見をいただくことができました。

なお、今後の課題として、種目によっては応援席から何をしているのか見えない。いつもより参加地区が少なく寂しい。との声や、スポーツ委員等への説明が十分でなかったことの反省等を踏まえ、競技方法のあり方や、不参加団体へ開催趣旨等の理解を求めていくことで、より多くの地区が参加されるよう努力してまいりますので、皆様のご理解ご協力をお願いします。



地区対抗種目の結果

○心をひとつに一気に(綱引き)

優勝 桜田

準優勝 北区

3位 道部

山口・指川・金沢

○一致団結右左(むかで競争)

優勝 江奈三・四

準優勝 西区

3位 東区



石部棚田での 取り組みが全国で 認められました。



豊かなむらづくり農林水産大臣賞受賞 石部地区棚田保全推進委員会

石部地区の棚田保全に取り組む「石部地区棚田保全推進委員会」が、平成十八年度豊かなむらづくり優良集団表彰において、農林水産大臣賞を受賞しました。

この表彰は、各地域の特性を活かした地域住民主体のむらづくりを助長するとともに、地域ぐるみの連帯感の醸成やコミュニケーション機能の強化を図り、農林漁業および農山村の健全な発展に資することを目的に昭和五十四年から実施されています。

農林水産大臣賞は、天皇杯、内閣総理大臣賞、(財)日本農林漁業振興会会長賞に次ぐ賞で、今回の受賞は、県内でも七事例目となります。

審査では、九十%以上が耕作放棄されていた棚田を地域住民や都市住民との協働により復活させ、静岡県内で初の棚田オーナー制度を導入したほか、地元小学生や県内大学生の農業体験も受け入れており、棚田で収穫された黒米等

は、新たな特産品の開発にもつながっている。と評価されました。委員の一人からは、「日本で最も美しい棚田ではないか」との意見もあつたそうです。

表彰式は、十月十三日にさいたま市のさいたま新都心合同庁舎で行われ、高橋周蔵会長、高橋靖副会長、高橋和泉会計が出席しました。



表彰を受ける高橋会長



棚田学会懇話会若手研究発表会 三浦小学校が稲作体験を発表

棚田の研究、保全に取り組む全国組織「棚田学会」主催の第十二回棚田学会若手研究発表会が十月十四日、新宿区の環境文化創造研究所で開催され、三浦小学校の六年生が棚田での稲作体験を発表しました。

三浦小学校では、学校の周りに広がる棚田の一面を借り、棚田保全推進委員会の指導のもと平成十二年度から総合的な学習の一環として、稲作体

験に取り組んでいます。

稲作は年間を通じて五年生が行い、田植えや稲刈り等の大きな作業は、五年生を中心に全校生徒で行っています。

発表会には、昨年、中心メンバーとして活動した六年生八人が参加し、「棚田での米づくり」と題して、良いもみを選ぶ塩水選からもみ干しまで一年間の作業について、また、米づくりから学んだことについて全員で発表しました。



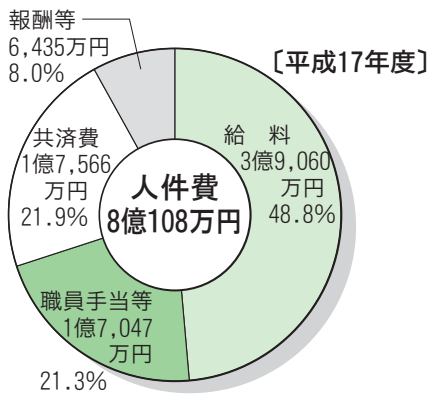
発表する六年生



十月十六日の稲刈り

町職員給与等の状況

町では、住民の皆さんに町行政についての理解を深めていただくため、行政情報の開示を行っています。その一環として町職員の給与等の状況を公表します。町職員の給与は、国及び他の市町村並びに民間事業所の給与等を考慮して定めるよう地方公務員法に規定されています。



平成十七年度普通会計決算に占める人件費の割合は左図に示すとおりで、歳出総額三十六億五千八百三十一万円のうち、二十一・九%にあたる八億八千万円が人件費となっています。

この人件費は町職員に支払われる給与のほか、町議会議員や各種委員などの特別職に支払われる給与、報酬も含まれています。

●職員の平均給与月額・平均年齢の状況 (平成18年4月1日現在)

一般行政職		技能労務職	
平均給与月額	平均年齢	平均給与月額	平均年齢
357,241円	43.8歳	264,879円	47.3歳

●職員給与費の状況(普通会計予算) (平成18年度)

職員数 A	給与費				1人当たり 給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末・ 勤勉手当	計 B	
98人	3億6,899万円	8,127万円	1億6,036万円	6億1,062万円	623万円

●初任給の状況 (平成18年4月1日現在)

区分		松崎町
一般行政職	大学卒	170,200円
	高校卒	142,800円
採用後の二年間の給料額	大学卒	182,200円
	高校卒	152,500円

●期末・勤勉手当の状況 (平成18年4月1日現在)

区分	6月	12月	計
期末	1.40月分	1.60月分	3.00月分
勤勉	0.725月分	0.725月分	1.45月分

●特別職の報酬 (平成18年4月1日現在)

区分	給与	期末手当
給料	町長	612,000円 4.40月分
	助役	495,000円 //
	収入役	461,000円 //
報酬	教育長	437,000円 //
	議長	218,000円 3.25月分
	副議長	166,000円 //
議員	150,000円 //	

●一般行政職の級別職員数の状況 (平成18年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
標準的な職名	主事主事補	主任主事	主任主査	係長	課長補佐	課長	
職員数	5人	15人	11人	10人	10人	9人	60人
構成比	8%	25%	18%	17%	17%	15%	100%

教育委員の任命

九月三十日をもって退任された深沢尚幸氏（江奈）の後任として藤池清信氏（桜田）が教育委員に任命され、教育行政の推進にご尽力いただくことになりました。
深沢氏には、二期八年にわたりご苦勞様でした。



藤池清信氏（桜田）

教育委員会の構成

教育委員長	小林昭夫
委員	土屋なお子
委員	松本狷三
職員代理者	藤池清信
教育長	指出巖

行財政改革経過報告

平成十八年度上半期における事務経費等の節減実績

庁舎内外における経費の節減について、平成十八年四月から九月までの光熱水費や事務に係る経費の節減状況がまとまりましたのでご報告します。

主な内容は以下のとおりですが、環境センターの空調機が老朽化したため、燃料が灯油のものから電気式の空調機に入れ替えたことや、国民健康保険の医療費通知の送付回数の見直し等から、灯油代や郵便料金が大幅に節減できました。

この他にも、車庫や倉庫として借り上げていた建物の返却、庁舎等の機械警備業務の委託の見直し等により年間にすると百万円程度の削減が見込まれています。

役場の日常的な経費には、前例踏襲で見直しを行ってこなかった事例がまだたくさん残っていると思われます。今後も改善に努めてまいりますので、皆様のご理解をお願いします。

平成18年度 上半期 事務経費等の節減状況

（単位：千円）

	電話料金	空調用灯油料	水道料金	電気料金	郵便料金	コピー料金	合計
平成16年度	863	1,182	190	3,940	3,916	2,029	12,121
平成17年度	863	957	167	3,286	3,768	1,001	10,041
平成18年度	684	723	103	3,113	2,841	712	8,175
17年度対18年度	-179 -20.7%	-234 -24.5%	-64 -38.4%	-173 -5.3%	-927 -24.6%	-289 -28.9%	-1,866 -18.6%
16年度対18年度	-179 -20.7%	-459 -38.8%	-87 -45.8%	-827 -21.0%	-1,075 -27.5%	-1,317 -64.9%	-3,946 -32.6%

松崎文芸

俳句

老いたれどこの身まだまだ秋晴るる

山本武男

彼岸花約束の如咲き出でし

小林忠男

空の碧うつす大川水澄めり

小林一男

懸崖の菊のこぼるる日向縁

佐藤享

遠景は冲天の富士秋茜

細谷金治

父偲ぶ墓前に咲きし百日紅

山本一詞

煎餅を割る音のして夜長かな

稲葉文字

秋明菊一輪白く馬頭尊

稲葉菊恵

古民家に句会を開く萩の風

依田ふじ枝

いとかれん紫が好き野辺の菊

土屋規矩子

夫つれて歩いてみたし菊日和

吉岡うた子

仏壇に湯気ごと供ふ栗ごはん

斎藤みつ子

括くられて光集むる黄菊かな

鈴木すみ江

野仏の足もと飾り彼岸花

清水高子

干し菊の吸物香る夕餉かな

松田美智子

まちならびかいじゅう

あのピンクのひもは？
国道136号
改良事業懇談会

国道136号の道部・雲見間の道路改良事業が国庫補助事業に採択され、今後、整備が進められます。

ガードレール等のピンクのひもは、県がその測量調査のため付けたものです。

県では、改良計画の作成に地域住民の意見を反映するため、九月二十五日に環境センターで一回目の懇談会を開催し、意見交換を行いました。



しずおかアダプト・ロード・プログラム
同意書の締結

アダプト・ロード・プログラムは、県が協働事業の一環として進めているもので、県が管理する道路の一定区間を

地域住民が「道路の美化団体」となり、清掃・除草や草花の維持管理等を行うものです。

今回、松崎町では初めてとなる県道南伊豆松崎線沿線の中村老人会との協議がまとまり、九月二十七日に同意書の締結が行われました。



雲見温泉
海賊料理まつり

雲見観光協会主催による海賊料理まつりが十月八日(日)、雲見海岸で開催されました。

今年は、天候にも恵まれた上、安曇地区訪問団の皆さんや海上交通ネットワーク事業

により大井川町の皆さんも訪れ、例年を上回る大勢の行楽客で賑わいました。
青空の下、カジキマグロの刺身や伊勢海老の味噌汁などが振る舞われ、大盛況でした。



秋の安曇を訪問して

長野県松本市安曇地区親善訪問団は、十月二十一日から二十二日にかけて三十三人で訪問してまいりました。安曇地区で昨年までずっと続けてきた「すもも祭り」が昨年で廃止になったことから、秋に訪問しようということになりました。

一日目は、松本城、開智学校を見学し、上高地アルペンホテルに泊まりました。翌日は朝八時にホテルを出発し梓川に沿って明神池まで散策しました。

カラ松林の樹間を縫つての散策道を黄金色に染まるカラ松の梢を見上げながら歩く。時折差し込む陽光が黄金色を際立たせ、常緑のとの木、しなの木の木が黄金を更に引き立たせる。往復二時間の道のりが短く感じられました。
また、安曇三ダムの一

つ稻核ダム辺りからの梓川渓谷の紅葉は黄金色が主流で、所々に紅色が点在する。訪問団の皆さんからキレイ、素晴らしい、と感嘆の声が随所で上がりました。
自然が造り上げる彩り、まさに芸術作品。これを表す文筆力は私にはない。

今の安曇はまさに錦秋の山里であった。素晴らしい一言につきる二日間を紹介した次第です。

町長室からこんにちは ⑤9

松崎町長
深澤 進



町の人口と世帯

(平成18年9月30日現在)
 () 内は前月比
 総人口 8,473人 (+9人)
 男 4,043人 (+10人)
 女 4,430人 (-1人)
 世帯数 3,166戸 (+5戸)
 転入 20人 転出 12人
 出生 7人 死亡 6人

町の交通事故

平成18年9月30日現在
 () 内は前年対比
 人身事故 30件 (-2)
 物損事故 90件 (-3)
 死者 0人 (±0)
 傷者 43人 (-6)

(9月分)
 戸籍だより

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
宮内	堀 はつ江	90	久 弥
船田	渡邊 勝美	69	篤 之
宮内	関 さち子	65	衛
雲見	関 健一	67	順 一
山口	稲葉 芳賢	62	富 江
石部	横塚 紀子	65	成 宏

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
伏倉	ル ^キ ト ^ト 飛 ^ト 疏 ^キ 己 ^ト 飛 ^ト	男	藤 池 拓 也
南区	レ ^ン 連	男	伊 藤 博 信
江奈1	ユ ^ウ 優 ^キ 希	女	関 康 人
江奈1	ラン ^ン 蘭	女	福 本 雅 洋
雲見	カイ ^ト 海 ^ト 人	男	奈良部 鉄 夫
大沢	マ ^サ 正 ^キ 貴	男	上 嶋 哲 也

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

気づかぬうちに糖尿病へ

血糖は血液中のブドウ糖の濃度のことで、食事から摂取した糖質は体内でブドウ糖に分解されて生命活動を行うためのエネルギーとして利用されます。血中の糖はインスリンによって一定の範囲に保たれていますが、過食や運動不足などで血糖が高い状態が続くとインスリン分泌の働きが悪くなり、次第に生理的範囲を超えて高くなる、いわゆる高血糖の状態となります。

高血糖の状態が続くとインスリンを分泌する膵臓に負担がかかり、さらにインスリンの働きが弱まって、多くの人は五年から十年で糖尿病へと進行してしまいます。

糖尿病はいつたんかかると食事療法や薬物療法などでずつつき合っているかなければならない病気であり、進行すると網膜症や腎症で失明したり、人工透析が必要となったり、脳梗塞などの重い合併症を併発したりします。糖尿病を予防するため高血糖にならないよう生活の改善や適度な運動を心がけましょう。

姉妹都市通信

帯広市から

十一月十八日から二月十四日のバレンタインデーまで、帯広駅と周辺中心街にイルミネーションが点灯します。

このイルミネーションは、「冬の帯広の街をもっともっと楽しいものになりたい。冬の帯広の街の楽しさをもっともっと知ってもらいたい。」という市民が集まって運営しているもので、帯広市民の点灯募金によりさらに輝きを増すことができるようになりました。

イルミネーションの間近では、色とりどりの光が雪に反射し、光に取り囲まれた夢の世界を体験できますし、少し離れて見ると、他のライトアップされた建物と調和し幻想的な雰囲気味わえます。松崎町のみなさんも、かつて依田勉三が体験した冬の帯広を感じてみませんか。



松本市安曇区から

十月六日(土)から七日(日)にかけて安曇地区訪問団二十四人がおじゃましました。

両日とも晴天に恵まれ、堂ヶ島の遊覧船、旧岩科学校見学、雲見地区海賊料理祭り参加、みかん狩りなど山国では味わえない盛りだくさんのイベントを用意していただき、参加者全員が感激して帰ってまいりました。

深澤町長さんをはじめ大勢の松崎町民の皆様、役場の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

松崎町の皆様がこちらへ来られる際、快晴になるよう「てるてる坊主」をつくりお待ちしております。

